

参考：

3 R 自己診断ツール

Excel 形式のツールで、廃棄物の発生量・再利用率・3 R の取組状況などを入力することで、同業種の都内排出事業者との比較により簡易的に診断するものです。

✓ 対象建築物

業種：オフィス・商業施設・病院・学校など／延床面積：主に事業用 3,000 ㎡以上

✓ 自己診断について

事業所における廃棄物発生量・再利用率、3 R の取組状況などのデータを入力すると、大規模事業所のデータ（約 1 万件）により、各項目 6 段階で相対評価が可能です。

他の同様の用途や規模の事業所との相対比較で、廃棄物の種類別に発生量の多いものを特定して、自社の 3 R の現状把握と改善点の発見に活用することができます。

✓ ご利用方法

以下の URL 又は二次元コードよりダウンロードしてご利用ください。

<https://www.circulareconomy.metro.tokyo.lg.jp/3r-adviser>



< 自己診断結果のイメージ >

発行日：令和 7 年 4 月 1 日

サスティナブル・レポート

●このレポートでは、東京都環境局が都内事業者の再利用率計画書を収集・分析したデータを基に評価を行っています。

●前述のデータから自動で算定している箇所は以下の通りです。

▶ベンチマーク評価（発生量評価・再利用率評価）

※取組評価は、訪問時のヒアリング結果を踏まえたものです。

▶次年度目標の数値(レポート P.2,3 右上)、目標発生量及び目標再利用率(レポート P.2,3 中段)

建物概要

建物所有者等株式会社プラスチック

建物名称株式会社プラスチック本社ビル

建物延床面積10,492㎡

主な用途区分①事務所

建物所在地：墨田区

廃棄物及び資源物の発生量と再利用率

実績年度	発生量	再利用率	再利用率
令和 6 年度	65.65 トン	55.45 トン	84.5%

ベンチマーク評価

※延床面積と建物使用用途が同等の都内事業者さまの実績と比較しています。

発生量評価	再利用率評価	取組評価	総合レベル
C	A	A	B

発生量評価▶詳細はレポート P.2 へ

もう少し取組ができないか検討してみましょう。特に評価が低かった部分の取組を強化していきましょう。

再利用率評価▶詳細はレポート P.3 へ

大変よく取り組まれています。S 評価目指して、取組を推進してください。

取組評価▶詳細はレポート P.4 へ

大変よく取り組まれています。S 評価目指して、取組を推進してください。

発生量評価

令和 6 年度		▶	次年度目標	
評価	発生量		評価	発生量
C	65.65 トン 原単位 6.257 kg/㎡		B	58.33552 トン 原単位 5.560 kg/㎡

発生量全体の評価は C 評価となります。もう少し取組ができないか検討してみましょう。特に評価が低かった部分の取組を強化していきましょう。

廃棄物種類別にみると、他の事業所に比べ、⑦その他紙類の発生量抑制が優れています。

次年度は B 評価目指して、特に評価が低かった部分の取組を強化していきましょう。③雑誌等⑤段ボール⑥飲料用びん⑧飲料用缶⑨ペットボトル⑩廃プラスチック類は他の事業所よりも発生量が多くなっています。発生抑制ができないか、検討してみましょう。

他の事業所に比べて発生量抑制の取組が非常に良くできている項目です。

⑦その他紙類	—	—	—	—
A 評価	—	—	—	—

他の事業所に比べて発生量が多い項目です。

評価を上げられるように発生量削減の可能性がないか検討してみましょう。

廃棄物種類	今年度評価	今年度発生量	▶	目標発生量
③雑誌等	E	5.400 トン	▶	5.015 トン
⑤段ボール	E	17.700 トン	▶	7.040 トン
⑥飲料用びん	E	3.200 トン	▶	1.070 トン
⑧飲料用缶	E	5.400 トン	▶	2.455 トン
⑨ペットボトル	E	7.950 トン	▶	6.012 トン

⑦その他紙類

廃棄物種類	評価	廃棄物種類	評価
①コピー用紙・OA 用紙	D	⑨その他可燃物（木・草・繊維等）	***
②機密文書類	***	⑩飲料用びん	E
③雑誌等	E	⑪飲料用缶	E
④新聞、チラシ	***	⑫ペットボトル	E
⑤段ボール	E	⑬食用油	***
⑥ミックスペーパー	***	⑭弁当がら	***
⑦その他紙類	A	⑮廃プラスチック類	E
⑧厨芥類	C	⑯その他不燃物（廃プラを除く）	***

***：発生量ゼロ